

第 11 回 (2018 年度) JACET 関東支部大会 — 神田外語大学後援 —

大会テーマ：英語教育におけるアクティブラーニングの課題と可能性

**Theme: Challenges and Possibilities of Active Learning
in English Language Education**

日時 / 2018 年 7 月 8 日 (日)	Sunday, July 8th, 2018
受付 / 9 時 00 分より	Registration starts at 9:00 a.m.
4 号館 1 階	Bldg. No 4, 1st Floor
場所 / 神田外語大学 幕張キャンパス	Kanda University of International Studies, Makuhari Campus

〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉 1-4-1

大会本部 / 4 号館 103 教室

一般社団法人大学英語教育学会・関東支部
The Japan Association of College English Teachers, Kanto Chapter

JACET 関東支部事務局

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25
青山学院大学文学部英米文学科・木村松雄研究室内

E-mail: tack@aoni.waseda.jp (大会運営委員長 新井巧磨)
大会に関するお問い合わせはこちらへ。会場へのお問い合わせは御遠慮下さい。

発表者・提案者・司会者の先生方へお願い

会場校に到着次第、受付にて登録をして、セッションの5分前までに、各会場にお越し下さい。発表会場には会場係がおり、発表者の到着確認や大会本部との連絡等を担当します。

注意：発表時間終了は会場係の指示に従って下さい。20分間の発表後、10分間の質疑応答があります。

【To Presenters, Symposiasts and Chairpersons】

Please register at the registration desk first, and please arrive at the designated room 5 minutes prior to the starting time of the presentation / session. A student in each presentation room will confirm your arrival and contact the convention office.

Attention: Each presenter must follow the directions from the timekeeper. A 10-minute Q&A session should follow the 20-minute presentation.

Call for Papers

JACET-KANTO Journal Vol.6 (JACET 関東支部 紀要第6号)

■原稿締切日：2018年7月20日(金) 23:59 JST

■原稿分量：A4判横書き、英文 abstract、keywords、図、文献などを含めて
計20枚以内(日・英とも)

■応募手順：

- ① 支部ホームページ上の「JACET-KANTO Journal Vol. 6 Call for papers」(5月更新予定)をご確認ください。Refer to: <http://www.jacet-kanto.org/>
- ② 「申し込みフォームへ」をクリックし、応募手続きを始めてください。
- ③ “JACET-KANTO Journal Online Submission Form” の必要事項を入力してください。
- ④ Form上の“Attachment”にて、所定テンプレートによる応募原稿(データファイル)を「オンライン提出」してください。
- ⑤ Form上の“Submit”をクリックし、応募手続きを完了してください。

■紀要発行日：2019年3月30日(土)(予定)

2回もしくは3回の査読審査後、12月頃に採択可否を投稿者に通知致します。
皆様からのご投稿をお待ちしております！

【大会参加費・懇親会費の領収証について】

1. 大会参加費は会員・非会員ともに当日 1,000 円です。会員の事前申込に限り、900 円（手数料別）となります。各大学の学部生は受付で学生証を提示することにより無料となります。
2. 懇親会にご出席頂ける方は、6 月 20 日（水）までに大会実行委員長 伊藤泰子（yasukoi@kanda.kuis.ac.jp）までご連絡下さい。メールの件名には「JACET 関東支部大会懇親会出席」とご記入ください。申込後、1～2 日以内に「申込受付完了」のメールをお送り致します。もし完了のメールが届かない場合は、メールアドレスを確認して再度お送りくださいますようお願い申し上げます。
3. 懇親会費は 3,500 円です。大会当日に受付でお支払いください。領収書が必要な方はお申し出ください。

目次

時間・教室割表.....	2
基調講演.....	3
第 11 回（2018 年度）JACET 関東支部大会プログラム.....	4
THE 11TH JACET KANTO CONVENTION PROGRAM.....	9
第 11 回（2018 年度）JACET 関東支部大会組織.....	14
出展参加賛助会員一覧（会員名簿順）.....	15
フロアマップ（4 号館）.....	16
神田外語大学 幕張キャンパス アクセスマップ.....	17
神田外語大学 CAMPUS MAP.....	18

時間・教室割

時刻	講演会場 (101)	第1室 (301)	第2室 (302)	第3室 (303)	第4室 (307)	第5室 (304)	第6室 (308)	第7室 (309)
9:00~		受付開始 (4号館1階にて)						
9:30~		賛助会員の展示案内 (4号館3階 305, 306教室にて)						
9:30~		#01 関東支部企画 ワークショップ	#03 関東支部企画 ワークショップ	#05 実践報告	#09 研究発表			
10:00~				#06	#10 実践報告			
10:05~				CANCELLED				
10:35~				#07 研究発表	#11 賛助会員発表			
10:45~								
11:15~		#02 開催校企画 KUIS hours	#04 関東支部企画 ワークショップ	#08 実践報告	#12 実践報告			
11:20~								
11:50~								
11:50~		屋食休憩 (4号館1階の学食「ラパス」がご利用頂けます。賛助会員の展示案内にも是非お立ち寄りください。)						
13:00~		支部総会・挨拶 (4号館1階 101教室にて)						
12:30~		1. 支部総会						
13:00~		2. 大会委員長挨拶						
13:00~		3. 会場校代表挨拶						
13:00~		基調講演 (4号館1階 101教室にて)						
14:30~		『英語教育におけるアクティブラーニングの課題と可能性』						
14:40~		#13 賛助会員発表	#15 ワークショップ	#17 実践報告	#21 実践報告	#25 研究発表	#27 研究発表	#29 CANCELLED
15:10~				#18 研究発表	#22 研究発表	#26 研究発表	#28 研究発表	#30 実践報告
15:15~								
15:45~		#14 関東支部企画 ワークショップ	#16 関東支部企画 ワークショップ	#19 実践報告	#23 研究発表			
15:55~				#20	#24 研究発表			
16:25~				CANCELLED				
16:30~								
17:00~								
17:30~		懇親会 (学内アジア食堂「食神」にて) 会費: 3,500円 (お申し込みは事前にお願ひ申し上げます。会費は当日お支払いください。)						
19:30								

※310教室は休憩室としてご利用頂けます。お茶のご用意もございます。 ※大会本部は103教室です。

基調講演

「英語教育におけるアクティブラーニングの課題と可能性」

Challenges and Possibilities of Active Learning in English Language Education

白水 始（東京大学 高大接続研究開発センター 教授）

「アクティブ・ラーニング」という用語は、当初学習指導要領諮問の際は、「指導法・教授方法」として提示されたが、その議論の過程で子ども自身の「学び」を見る視点と捉え直され、改訂された小中高の学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」と呼ばれるようになってきている。平易に言えば、「活動」からその活動を通して子どもの頭や心の中に起きる「認知的な変化」に重点が移っている。

この視点は、活動やアウトプットに目を奪われがちな英語教育では特に重要なものだろう。現行の学習指導要領の時点から、言語活動の導入と“All English”の影響で、外国語（英語）活動やその教科の時間は、他の教科に比べ、群を抜いて、授業のやり方そのものは「アクティブ」になっている。しかし、子どもたちの頭の中で、言語に対する知識や理解はどのように広がったり深まったりしているのだろうか。

その現状と今後の課題について、基調講演では、そもそも言語は人に何をさせてくれるのかや、言語を学ぶことの意味に関する認知科学的な事例紹介から始め、アクティブ・ラーニングを実現する一授業手法である「知識構成型ジグソー法（knowledge constructive jigsaw）」とそれを軸にした授業研究の解説、英語教育が充実しているフィリピンに同手法を持ち込んだ体験から見た、日本における英語教育の在り方に関する考察という順にお話しして、みなさんと共に考えたい。

<略歴>

2000年から中京大学、2012年から国立教育政策研究所に勤務し、2016年度より東京大学に異動。協調学習に基づく授業づくりを全国の先生方と共に行う東京大学 CoREF のユニット・リーダーを務める。「キー・コンピテンシー」の改訂版を考える「OECD Education 2030」の日本代表。今後の教育のための授業法、評価、ICT活用、教師支援を一体的に進める。

第11回(2018年度)JACET関東支部大会プログラム

テーマ：英語教育におけるアクティブラーニングの課題と可能性

日時：2018年7月8日(日) 場所：神田外語大学 幕張キャンパス 4号館

参加費：会員・非会員は1,000円、各大学の学部生は無料

受付 09:00～ (4号館1階)

賛助会員の展示案内 09:30～ (4号館3階 305、306)

午前の部

【第1室】(301教室)

#01. 関東支部企画ワークショップ 09:30～10:35

Promoting Active Learning In and Out of the Classroom

Murphey, Tim (Kanda University of International Studies)

Deacon, Brad (Nanzan University)

#02. 開催校企画 KUIS Hours 10:45～11:50

Empowering Students through Autonomy: How KUIS Encourages Life-Long Self-Directed Learning

Watkins, Satoko (Kanda University of International Studies)

Curry, Neil (Kanda University of International Studies)

【第2室】(302教室)

#03. 関東支部企画ワークショップ 09:30～10:35

アクティブ・ラーニングの実際：音声指導を中心に

How to Incorporate AL into English Pronunciation Teaching

田邊祐司(専修大学)

#04. 関東支部企画ワークショップ 10:45～11:50

英語授業におけるアクティブラーニングの事前準備と実践

Preparation and Practice for Active Learning in English Class

下山幸成(東洋学園大学)

【第3室】(303教室)

#05. 実践報告 09:30～10:00

Integrating Aspects of Active Learning in CLIL: A Report on German Studies in English

Crawford, Michael (Dokkyo University)

#06. 研究発表 10:05～10:35

[C A N C E L E D]

#07. 研究発表 10:45~11:15

Assessing ELF Knowledge and Skills in a CLIL Classroom Context

Nakamura, Yuji (Keio University)

Murray, Adam (University of the Ryukyus)

#08. 実践報告 11:20~11:50

日本の大学生のための CLIL 教材開発: 世界遺産

CLIL Materials Development for Japanese University Students: The World Heritage Sites

笹島茂 (東洋英和女学院大学)

仲谷都 (東洋英和女学院大学・非常勤講師)

油木田美由紀 (東洋英和女学院大学・非常勤講師)

小杉弥生 (東京女子大学)

【第4室】(307教室)

#09. 研究発表 09:30~10:00

自己決定理論は L2 動機づけ研究にとって時代遅れなのか?

Is Self-Determination Theory Outdated in L2 Motivation Research?

馬場正太郎 (東京外国語大学・大学院生)

#10. 実践報告 10:05~10:35

L2 学習目的、ビリーフ、目標についての母語による深い対話は習熟度が高くない学習者の能動的学修と動機づけをもたらすか

L1 Dialogues on L2 Learning Purposes, Beliefs and Objectives that Generate Active Learning and Motivation for Low-Proficiency Learners

清田顕子 (東京経済大学・非常勤講師)

#11. 賛助会員発表 10:45~11:15

21st Century Skills for Student Success

Peacock, Rob (Oxford University Press)

#12. 実践報告 11:20~11:50

Students' Reaction to the *Duolingo* Language Learning App in a University Setting

Isaacson, Jonathan (Tokyo International University)

昼食休憩 11:50~13:00

4号館3階305・306教室での賛助会員の展示案内にも是非お立ち寄り下さい。

昼食の際、学食4号館1階「ラパス」をご利用いただけます。

【講演会場】(101 教室)

支部総会・挨拶 12:30~13:00

総合司会	伊藤泰子	(大会実行委員長・神田外語大学)
支部総会	高木亜希子	(関東支部事務局幹事・青山学院大学)
大会委員長挨拶	木村松雄	(JACET 関東支部長・青山学院大学)
会場校代表挨拶	Robert De Silva	(神田外語大学副学長・ 国際コミュニケーション学科教授)

基調講演 13:00~14:30

司会：神保尚武 (JACET 前会長・早稲田大学名誉教授)

英語教育におけるアクティブラーニングの課題と可能性

講演者：白水始 (東京大学 高大接続研究開発センター 教授)

午後の部

【第1室】(301 教室)

#13. 賛助会員発表 14:40~15:45

アクティブラーニングの可能性と実践例—TOEIC®L&R テスト向けのクラスでの活動も含めて

Possibilities and Practical Approaches of Active Learning: Including Activities for TOEIC® L&R TEST

関戸冬彦 (獨協大学)

長和重 (新潟大学・非常勤講師)

中村信子 (日本大学・非常勤講師)

玉木史恵 (上智大学英語学習アドバイザー)

#14. 関東支部企画ワークショップ 15:55~17:00

ファシリテーション技術に基づくアクティブラーニング型の英語指導
—ホワイトボード・ミーティング®を活用して—

Active Learning in Teaching English Based on a Facilitation Technique: Using Whiteboard Meeting®

大場浩正 (上越教育大学大学院)

【第2室】(302教室)

#15. ワークショップ 14:40~15:45

英語教育におけるアクティブ・ラーニングの可能性

—ミュージカルを使った英語学習への動機づけと英語表現の定着—

Potential of Active Learning in English Education: Using Musicals to Motivate Learners Towards English Learning and Automatization of English Expressions

河内山晶子 (明星大学)

#16. 関東支部企画ワークショップ 15:55~17:00

アクティブラーニングを促進する協同学習活動

Cooperative Learning Activities that Promote Active Learning

伏野久美子 (東京経済大学)

【第3室】(303教室)

#17. 実践報告 14:40~15:10

Challenges and Possibilities of Group Peer Tutoring: Practical Implications for Implementation of Active Learning

Kodate, Azusa (Kanda University of International Studies)

#18. 研究発表 15:15~15:45

アクティブラーニングで文法を学ぶ

—ディクトグロスを用いた協同学習の効果—

How to Learn Grammar in Cooperative Learning with Dictogloss

山本成代 (創価女子短期大学)

臼倉美里 (東京学芸大学)

#19. 実践報告 15:55~16:25

学習者と創る異文化適応の英会話授業—聞き取り調査の結果から

Japanese ESL Students Talk about Cross-Cultural Conversation Class They Need

大味潤 (東京経済大学・非常勤講師)

#20. 実践報告 16:30~17:00

【 C A N C E L E D 】

【第4室】(307室)

#21. 実践報告 14:40~15:10

国際ビジネス交渉における英語力とビジネス・センスの相互作用

Synergy Between English Proficiency and Business Sense in International Business Negotiation

戸田博之 (東京大学・大学院生)

#22. 研究発表 15:15~15:45

“LINE Study” —自主的な学習の実地

“LINE Study”: Autonomous Learning

木村美由紀 (東京慈恵会医科大学・非常勤講師)

#23. 研究発表 15:55~16:25

Japanese Learners' Grammaticality Judgment of *wanna* Contraction

Ito, Yasuko (Kanda University of International Studies)

#24. 研究発表 16:30~17:00

ライティング力向上のための品詞認識の重要性とアクティブラーニングを使った品詞理解の取り組み

Scaffolding English Writing Skills by Enhancing Recognition of Parts of Speech Using Active Learning

山科美智子 (埼玉女子短期大学)

【第5室】(304 教室)

#25. 研究発表 14:40~15:10

日本人大学生の長期留学の成果と課題：事後研修および長期的キャリアにどう結びつけるか

The Gains and Challenges of Japanese University Students through a Long-Term Study Abroad: How to Connect their Outcomes to their Long-Term Career

藤尾美佐 (東洋大学)

#26. 研究発表 15:15~15:45

小学校英語指導者のコア・コンピテンスをめぐって
—教職課程調査結果と今後の課題—

Core Competences as Elementary Educators of English: Research Findings and Implications

山口高領 (立教女学院短期大学)

久村研 (田園調布学園大学・名誉教授)

【第6室】(308 教室)

#27. 研究発表 14:40~15:10

Discrepancy Between Teachers' and Learners' Preferences of Oral Corrective Feedback Types

Sekine, Yukihiro (Kansai University; graduate student)

Sano, Fujiko (Tokoha University)

#28. 研究発表 15:15~15:45

シャドーイング・トレーニングにおける第二言語流暢さ指標と再生率の質的变化

Shadowing Training: Qualitative Changes of L2 Fluency Markers and Rate of Speech Reproduction

村岡有香 (聖学院大学)

【第7室】(309 教室)

#29. 実践報告 14:40~15:10

【 C A N C E L E D 】

#30. 実践報告 15:15~15:45

The Effects of Different Learning Conditions on Vocabulary Knowledge

Kawakami, Mutsumi (Tokyo Denki University)

懇親会 学内アジア食堂「食神」にて 17:30~19:30

会費：3,500円 (お申し込みは事前をお願い申し上げます。会費は当日受付にてお支払い下さい。)

THE 11TH JACET KANTO CONVENTION PROGRAM

**Theme: Challenges and Possibilities of Active Learning
in English Language Education**

**Sunday, July 8th, 2018 / Kanda University of International Studies,
Makuhari Campus, Bldg. No. 4**

Registration Fee: ¥1,000 (all undergraduate students admitted free)

Registration 9:00 ~ (1st Floor Gallery, Bldg. No. 4)
Publisher's Presentation 9:30 ~ (3rd Floor, Room 305 & 306, Bldg. No. 4)

Morning Sessions

ROOM 1 [301]

#01. Special Workshop 09:30 ~ 10:35

Promoting Active Learning In and Out of the Classroom

Murphey, Tim (Kanda University of International Studies)

Deacon, Brad (Nanzan University)

#02. KUIS Hours 10:45~11:50

Empowering Students through Autonomy: How KUIS Encourages Life-Long
Self-Directed Learning

Watkins, Satoko (Kanda University of International Studies)

Curry, Neil (Kanda University of International Studies)

ROOM 2 [302]

#03. Special Workshop 09:30~10:35

How to Incorporate AL into English Pronunciation Teaching

Tanabe, Yuji (Senshu University)

#04. Special Workshop 10:45~11:50

Preparation and Practice for Active Learning in English Class

Shimoyama, Yukinari (Toyo Gakuen University)

ROOM 3 [303]

#05. Case Study 09:30~10:00

Integrating Aspects of Active Learning in CLIL: A Report on German Studies in
English

Crawford, Michael (Dokkyo University)

#06. Research Paper 10:05~10:35

[C A N C E L E D]

#07. Research Paper 10:45~11:15

Assessing ELF Knowledge and Skills in a CLIL Classroom Context

Nakamura, Yuji (Keio University)

Murray, Adam (University of the Ryukyus)

#08. Research Paper 11:20~11:50

CLIL Materials Development for Japanese University Students: The World Heritage Sites

Sasajima, Shigeru (Toyo Eiwa University)

Nakaya, Miyako (Toyo Eiwa University; part-time)

Yukita, Miyuki (Toyo Eiwa University; part-time)

Kosugi, Yayoi (Tokyo Woman's Christian University)

ROOM 4 [307]

#9. Research Paper 09:30~10:00

Is Self-Determination Theory Outdated in L2 Motivation Research?

Baba, Shotaro (Tokyo University of Foreign Studies; graduate student)

#10. Case Study 10:05~10:35

L1 Dialogues on L2 Learning Purposes, Beliefs and Objectives that Generate Active Learning and Motivation for Low-Proficiency Learners

Kiyota, Akiko (Tokyo Keizai University; part-time)

#11. Publisher's Presentation 10:45~11:15

21st Century Skills for Student Success

Peacock, Rob (Oxford University Press)

#12. Case Study 11:20~11:50

Students' Reaction to the *Duolingo* Language Learning App in a University Setting

Isaacson, Jonathan (Tokyo International University)

Lunch Break 11:50~13:00

Conference Hall [101]

General Meeting & Greetings 12:30~13:00

Chair:

Ito, Yasuko (Working Committee Chairperson, Kanda University of International Studies)

General Meeting:

Takagi, Akiko (Secretary General of JACET KANTO, Aoyama Gakuin University)

Greetings:

Kimura, Matsuo (President of JACET KANTO, Aoyama Gakuin University)

De Silva, Robert (Vice President of Kanda University of International Studies)

Keynote Lecture 13:00~14:30

Chair: Jimbo, Hisatake
(Immediate Past President of JACET, Professor Emeritus of Waseda University)

Challenges and Possibilities of Active Learning in English Language Education

Lecturer: Shirouzu, Hajime (The University of Tokyo)

Afternoon Sessions

ROOM 1 [301]

#13. Publisher's Presentation 14:40~15:45

Possibilities and Practical Approaches of Active Learning: Including Activities for TOEIC® L&R TEST

Sekido, Fuyuhiko (Dokkyo University)

Cho, Kazushige (Niigata University; part-time)

Nakamura, Nobuko (Nihon University; part-time)

Tamaki, Fumie (Sophia University; English Study Advisor)

#14. Special Workshop 15:55~17:00

Active Learning in Teaching English Based on a Facilitation Technique: Using *Whiteboard Meeting*®

Oba, Hiromasa (Joetsu University of Education)

ROOM 2 [302]

#15. Workshop 14:40~15:45

Potential of Active Learning in English Education: Using Musicals to Motivate Learners towards English Learning and Automatization of English Expressions

Kouchiyama, Akiko (Meisei University)

#16. Special Workshop 15:55~17:00

Cooperative Learning Activities that Promote Active Learning

Fushino, Kumiko (Tokyo Keizai University)

ROOM 3 [303]

#17. Case Study 14:40~15:10

Challenges and Possibilities of Group Peer Tutoring: Practical Implications for Implementation of Active Learning

Kodate, Azusa (Kanda University of International Studies)

#18. Research Paper 15:15~15:45

How to Learn Grammar in Cooperative Learning with Dictogloss

Yamamoto, Shigeyo (Soka Women's College)

Usukura, Misato (Tokyo Gakugei University)

#19. Case Study 15:55~16:25

Japanese ESL Students Talk about Cross-Cultural Conversation Class They Need
Omi, Jun (Tokyo Keizai University; part-time)

#20. Case Study 16:30~17:00

[C A N C E L E D]

ROOM 4 [307]

#21. Case Study 14:40~15:10

Synergy Between English Proficiency and Business Sense in International Business
Negotiation

Toda, Hiroyuki (Tokyo University; graduate student)

#22. Research Paper 15:15~15:45

“LINE Study”: Autonomous Learning

Kimura, Miyuki (The Jikei University School of Medicine; part-time)

#23. Research Paper 15:55~16:25

Japanese Learners' Grammaticality Judgment of *wanna* Contraction

Ito, Yasuko (Kanda University of International Studies)

#24. Research Paper 16:30~17:00

Scaffolding English Writing Skills by Enhancing Recognition of Parts of Speech
Using Active Learning

Yamashina, Michiko (Saitama Women's Junior College)

ROOM 5 [304]

#25. Research Paper 14:40~15:10

The Gains and Challenges of Japanese University Students through a Long-Term
Study Abroad: How to Connect their Outcomes to their Long-Term Career

Fujio, Misa (Toyo University)

#26. Research Paper 15:15~15:45

Core Competences as Elementary Educators of English: Research Findings and
Implications

Yamaguchi, Takane (St. Margaret's Junior College)

Hisamura, Ken (Den-en Chofu University; professor emeritus)

ROOM 6 [308]

#27. Research Paper 14:40~15:10

Discrepancy Between Teachers' and Learners' Preferences of Oral Corrective
Feedback Types

Sekine, Yukihiro (Kansai University; graduate student)

Sano, Fujiko (Tokoha University)

#28. Research Paper 15:15~15:45

Shadowing Training: Qualitative Changes of L2 Fluency Markers and Rate of
Speech Reproduction

Muraoka, Yuka (Seigakuin University)

ROOM 7 [309]

#29. Case Study 14:40~15:10

[C A N C E L E D]

#30. Case Study 15:15~15:45

The Effects of Different Learning Conditions on Vocabulary Knowledge

Kawakami, Mutsumi (Tokyo Denki University)

Party 17:30~19:30

Place: Asian Kitchen Shokujin

Fee: ¥3,500

(Please pay at the registration desk on the day.)

第11回（2018年度）JACET 関東支部大会組織

- 大会委員長： 木村 松雄（青山学院大学）
- 大会運営委員長： 新井 巧磨（早稲田大学）
- 大会実行委員長： 伊藤 泰子（神田外語大学）
- 審査委員会： 斎藤 早苗（委員長・東海大学）、川口 恵子（副委員長・芝浦工業大学）、遠藤 雪枝（昭和大学）、菊池 尚代（青山学院大学）、田口 悦男（大東文化大学）、武藤 克彦（東洋英和女学院大学）、林 千賀（成蹊大学）、Brian Wistner（法政大学）
- 大会実行委員会： 伊藤 泰子（委員長・神田外語大学）、小林 真記（神田外語大学）、関屋 康（神田外語大学）、辻 るりこ（神田外語大学）、朴 シウォン（神田外語大学）、藤村 朋子（神田外語大学）、吉住 香織（神田外語大学）
- 大会運営委員会： 新井 巧磨（委員長・早稲田大学）、飯田 敦史（副委員長・群馬大学）、青田 庄真（筑波大学）、伊藤 泰子（神田外語大学）、遠藤 雪枝（昭和大学）、大矢 政徳（目白大学）、大和田 和治（立命館大学）、奥切 恵（聖心女子大学）、小張 敬之（青山学院大学）、川口 恵子（芝浦工業大学）、菊池 尚代（青山学院大学）、清田 洋一（明星大学）、荊 紅涛（創価大学）、河内山 晶子（明星大学）、小屋 多恵子（法政大学）、斎藤 早苗（東海大学）、佐竹 由帆（駿河台大学）、佐藤 健（東京農工大学）、佐野 富士子（常葉大学）、下山 幸成（東洋学園大学）、鈴木 彩子（玉川大学）、鈴木 健太郎（共栄大学）、関戸 冬彦（獨協大学）、田口 悦男（大東文化大学）、辻 るりこ（神田外語大学）、寺内 正典（法政大学）、藤尾 美佐（東洋大学）、Brian Wistner（法政大学）、武藤 克彦（東洋英和女学院大学）、山口 高領（立教女学院短期大学）、山本 成代（創価女子短期大学）、米山 明日香（青山学院大学）、渡辺 彰子（早稲田大学）
- 大会支援学生： 青柳 実優、川村 仁美、葛田 楓、白川 智也、花輪 翼、藤井 麻友、ホ ブ アン ハイ、梁瀬 貴則、分部 大（以上、神田外語大学学生）

出展参加賛助会員一覧（会員名簿順）

株式会社 アルク

株式会社 朝日出版社

チエル株式会社

englishbooks.jp

株式会社 金星堂

株式会社 桐原書店

一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会

株式会社 エル・インターフェース

公益財団法人 日本英語検定協会

オックスフォード大学出版局

リアリーイングリッシュ株式会社

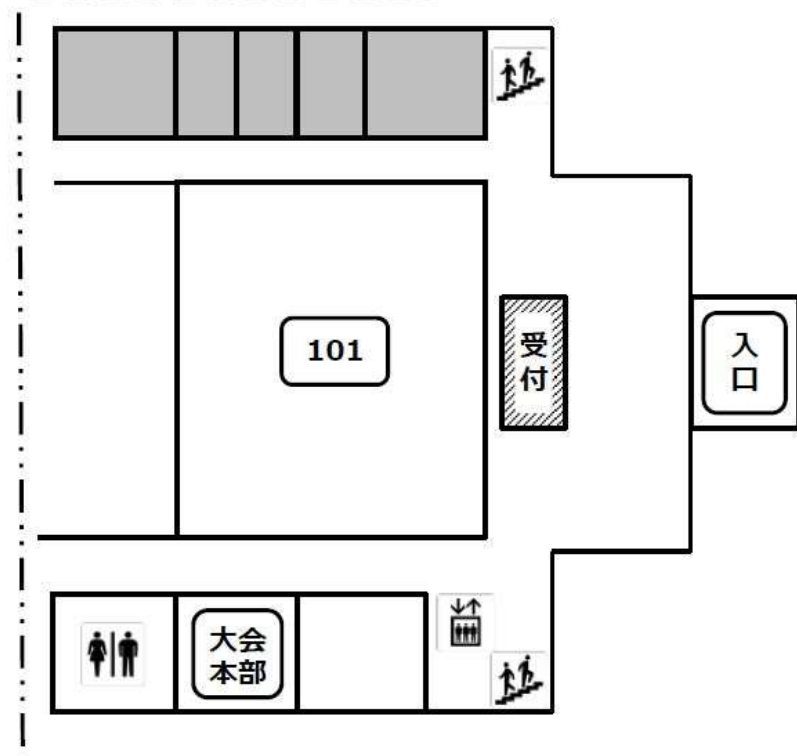
株式会社 三修社

株式会社 成美堂

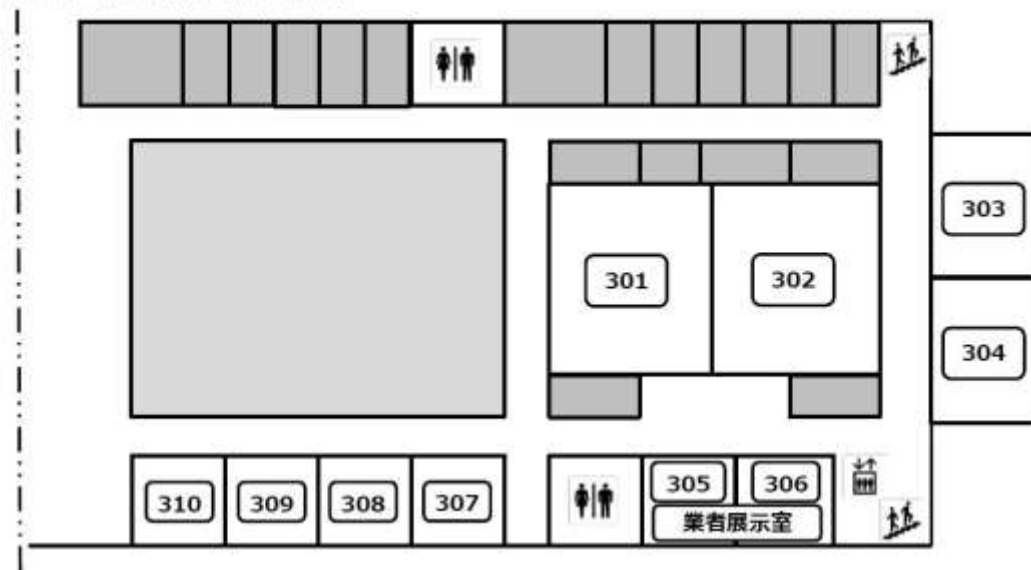
株式会社 トライアログ・エデュケーション

フロアマップ

神田外語大学 4号館 1階



神田外語大学 4号館 3階



神田外語大学 幕張キャンパス アクセスマップ



- JR京葉線「海浜幕張」駅下車、徒歩約15分、バス利用約5分。
- JR総武線「幕張」駅下車、徒歩約20分。
- JR総武線「幕張本郷」駅下車、バス利用①約8分または②約15分。
- 京成電鉄「京成幕張」駅下車、徒歩約15分。

※所要時間には、電車の待ち時間・乗り換え時間等は含まれてはいません。

神田外語大学 CAMPUS MAP

